

(令和8年5月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	5月は気温の高い日、日照時間が平年以上の長さの日が多かった。生育順調で入荷量の増加した品目もあったが、販売が伸び悩み出荷を控えた品目の影響などで、総入荷量は前年同月比で8%下回った。また、野菜全般の総取扱金額は前年同月並みだった。この先、産地の切り替わりが進む。品目により前年と比べ増減あるものの、気温上昇により生育順調で、総入荷量は来月も平年並みの予想。 6月は、野菜では、賀茂なすや万願寺とうがらし等の果菜類の入荷が増え、青梅が最盛期を迎える。果実では、桃の入荷が始まり、桜桃やすいか等の入荷が増える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は8%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で9%下回ったが、単価は前年同月並みだった。 葉菜類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は23%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は12%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、単価はばれいしょ・たまねぎなどの品目が前年品薄・単価高であったことから14%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は11%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で35%上回り、単価は19%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で17%上回り、単価は14%下回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で13%上回り、単価は7%下回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で29%下回り、単価は5%上回った。 すいか類の入荷量は前年同月比で18%上回り、単価は4%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん 【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス 【果菜類】 きゅうり なす	千葉、香川、鹿児島、長崎、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9％下回り、単価は16％上回った。 徳島を中心に長崎、兵庫、熊本などからも入荷した。入荷量は13％下回ったが、種まき期の降雨が原因で不作となった産地の影響で単価高となった前年より、単価は15％下回った。 茨城を中心に、長野、兵庫、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月並みだったが、単価は18％上回った。 愛知、京都、茨城、兵庫を中心に入荷した。入荷量は11％下回ったが、単価は48％上回った。 茨城、岐阜を中心に京都、滋賀などからも入荷した。入荷量、単価ともに前年同月並みだった。 長野を中心に、山梨、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で13％上回ったが、干ばつの影響で秀品率が低く単価安となった前年と比較して、単価は34％上回った。 宮崎を中心に、滋賀、福岡、高知、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で5％上回ったが、特売需要が高まり、単価は14％上回った。 高知を中心に、岡山などから入荷した。入荷量は前年同月比で5％上回ったが、気温低下により入荷量の減少した上旬に単価が上がった影響で、単価は10％上回った。

とまと	熊本を中心に、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は7%上回った。
ピーマン	宮崎、高知を中心に茨城、大分などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は22%上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	長崎を中心に、熊本、鹿児島、北海道などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9%下回ったが、品薄により単価高となった前年より単価は17%下回った。
たまねぎ	兵庫を中心に、長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4%下回ったが、品薄により単価高となった前年より単価は23%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	熊本、福岡、愛媛、和歌山、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３０％上回り、単価は１９％下回った。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で１５％上回り、単価は１７％下回った。
いちご	福岡、大分、熊本、佐賀、長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％上回り、単価は７％下回った。
アールスメロン	静岡、高知を中心に熊本などから入荷した。入荷量は前年同月比で９％上回ったが、秀品率が高く単価は８％上回った。
大玉すいか	熊本を中心に長崎、鳥取などから入荷した。入荷量は前年同月比で２０％上回り、単価は４％下回った。